

2011年4月18日

各位

太平洋セメント株式会社

### 震災後初、東北地方太平洋沿岸地域にセメント輸送タンカー入港

去る3月11日に発生した東日本大震災で被災され亡くなられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。併せて、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

このたび震災以降入港できなかった塩釜東サービスステーション（宮城県塩竈市）に、セメント輸送タンカーが入港することとなりました。塩釜東サービスステーションは、東北地方太平洋沿岸地域で被災したサービスステーション中で最初の復旧施設であり、震災後初となるセメント輸送タンカーの受け入れとなります。

未だ避難所等で不自由な生活を送られている皆さまが、再び平穏な生活の場を取り戻すことができますよう、太平洋セメントは全力を挙げて被災地の復興に貢献してまいります。

### 記

1. 入港場所 塩釜東サービスステーション  
宮城県塩竈市貞山通1-6-26
2. 入港日時 4月20日（水）11：00予定  
※天候により遅れる可能性があります。
3. 船名 第二龍王丸  
※船体には被災地向けに以下の応援メッセージを掲げております。  
「がんばろう東北 まちの復興を願って」
4. 船荷 セメント 1,000t

### ■東日本大震災における当社被災状況について（2011年4月18日現在）

<東北地区SSの状況>

弊社は、東北地方に14カ所のサービスステーション（以下SS）を有しておりますが、そのうち、太平洋沿岸地域の八戸東、八戸西（青森県）、塩釜東、塩釜西、仙台（宮城県）、相馬、小名浜北、小名浜南（福島県）の8カ所のSSが被災しました。

既に8カ所全てのSSに設備診断チームを派遣して被災状況の把握に努めており、暫時復旧作業に着手しております。

SS網が完全に復旧するまでの期間は、酒田南（山形県）、会津（福島県）、矢板（栃木県）等のSSから応援出荷することで、被災地にセメントを供給できるよう万全を期してまいります。

<塩釜東および塩釜西 SS の状況>

塩釜東、塩釜西の両 SS は、主に地盤改良用のセメント（商品名：ジオセット）の出荷拠点として営業してまいりました。両 SS は被災状況が比較的軽微であったことから、一部の機能を活用して既にジオセットの出荷を再開しております。

塩釜東、塩釜西の両 SS が完全に機能を回復するまでには若干の期間を要するものと思われませんが、復旧作業を継続する中で、可能な限り被災地の復興に不可欠な資材であるセメントを供給してまいります。

<大船渡工場の復旧状況>

主力工場である大船渡工場（岩手県）につきましては、今回の震災により2基あるキルン（焼成窯）のうち1基が津波により浸水したものの、1基は直接の津波被害は免れました。しかしながら、原燃料の供給設備や出荷設備などの被害に加え、設備を稼動するための電力供給も絶たれており、依然として操業を停止しています。

このような中、弊社では早期の稼動を目指して場内の瓦礫の撤去を進めるとともに、現地へ調査チームを派遣し、被災設備の点検調査、復旧作業を開始しております。

<本件に関するお問合せ>

太平洋セメント株式会社

総務部 IR 広報グループ

TEL 03-5531-7334